



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2009年7月16日

LOJAPR09/17-No. 139

プレスリリース

食料価格は多くの国で依然非常に高い 高価格は農村および都市部で貧しい人々に悪影響を及ぼす

2009年7月16日、ローマ - 開発途上国における国内食料価格は国際価格の急落と全体的に良好な穀物収穫にもかかわらず依然高いままである、と FAO は16日発表の最新の穀物見通しと食料事情報告書で警告した。

いくつかの国では、価格はすでに高い昨年の価格を上回るか依然記録的な水準であり、何百万という人々を苦しめている。

サハラ以南アフリカでは、27カ国でモニターされている穀物価格の80から90%が2年前の食料価格危機以前に比べて25%以上高くなっている。FAOのデータによれば、アジアとラテンアメリカおよびカリブでは価格は31カ国でモニターされており、そのうち40から80%が食料危機期間以前に比べて25%以上高くなっている。

「食料価格が高い状況が続く、所得の多くの部分を食料購入に充てている都市部および農村部双方の脆弱な人々の食料安全保障への懸念を高めている」と FAO は述べた。

東アフリカでは、スーダンにおいて、6月のソルガムの価格は2年前に比べて3倍高くなっている。ウガンダ、ケニアおよびエチオピアではトウモロコシの価格は2年前に比べて2倍となっている。南部アフリカではトウモロコシの価格は豊作によりここ数ヶ月は下落しているが、それでも依然危機前の水準よりは高い。西アフリカでは2008年末に良好な収穫により価格は下落したが、2009年には再び価格が上昇した。ガーナではアクラのトウモロコシ価格は2007年6月の水準から比べると2倍以上になっている。

報告書によれば高い食料価格の理由は様々であり、収穫の減少、輸入価格の上昇または輸入の遅れ、内紛、近隣諸国の高い需要および地域の流通、通貨の切り下げ、食料および貿易政策の変更、所得と需要の増大、輸送制約および輸送コストの上昇などが挙げられている。

世界の穀物供給は 満足のいく水準を保つ

世界の穀物供給および需要の見通しは、穀物生産が2008年の史上最高水準から2009年の3%減少予測がされているものの満足のいくものである、と FAO は述べた。世界の2009年穀物生産は22億800万トンと予想され、これは昨年の史上最高の収穫に比べると3.

4%の減少だが、それでも史上2番目に高い穀物の収穫が見込まれることを意味する。小麦と粗粒穀物は、減産となる見通しである。

低所得食料不足諸国では、2009年の穀物見通しは全体的に良好で総生産の予測は昨年に続き増加とみられている。しかし、西アフリカおよび東部アフリカの一部とアジアでは雨季の始まりが不規則で、見通しははっきりしない。

危機に直面する30カ国

世界的に良好な穀物供給見通しにもかかわらず、世界の30カ国では危機的な状況であり、自然災害、紛争、政情不安、および経済問題の結果、外部からの支援を必要としている。

飢餓撲滅、国際農業システムのガバナンスの向上および世界の食料安全保障を確保するための政策やプログラムに関して基本的なコンセンサスを得るために、世界食料サミットがローマのFAO本部で11月16－18日に開催される予定である。

英文 URL <http://www.fao.org/news/story/en/item/28797/icode/>